

# 下半期 活動報告

今年度についても、新型コロナウイルス感染症の終息の目途が立たない中での活動を強いられました。しかしながら、状況が許す限り、中学校・高校における出張介護授業の実施や、求職者向けの就職支援セミナーにおける介護の仕事の体験発表等、様々な活動を通して、福祉・介護の魅力の発信に尽力しました。

※厳しい状況の中で、多くの活動に協力いただき、誠にありがとうございました。

## 体験発表等を聞いた参加者の声



就活を考え始めた時期や勉強方法、自分の心境の変化等、私たち学生に寄り添いつつ、リアルな話を聞いて勉強になりました。

大変だけれどやりがいのある仕事だと、介護に対するイメージが変わりました。質問にも丁寧に対応してくださり、介護業界に興味がありました。



就職するにあたっての準備等、細かく説明してくださいました。このセミナーで福祉や介護に興味を持つ人が多くなると思いました。

焦る気持ちのある反面、何をしたらいいのかわからないという状況だったので、介護業界へのイメージが掴め、とても参考になりました。



# 1年間の活動実績

～ 令和3年度活動実績 ～  
活動回数：65回 参加者数：1121名

## (1) 次世代の担い手への働きかけ

中学校・高校等において、福祉の仕事の内容や魅力を、わかりやすく介護体験等を織り交ぜながら、経験してきた隊員ならではの言葉で伝えました。対象人数が少ない場合は座談会形式で実施する等、コロナ禍においても福祉・介護現場の空気を『知る』機会がより良いものになるよう工夫しました。

出張介護授業(高校等)  
➡ 12回 (290名)



## (2) 大学・専門学校生への働きかけ

長引くコロナ禍で、大学等の授業はオンラインが主流でしたが、対面による体験発表等の希望もありました。依頼者のニーズに応え、受講者の効果性が高まるよう、社会情勢を考慮しながらの対応となりました。

就職ガイダンス・オンライン授業等での体験発表  
➡ 3回 (73名)



## (3) 求職者への働きかけ

県内各地で実施する相談会等において、福祉・介護の魅力を伝えました。

福祉業界就職応援プログラムでの体験発表  
➡ 5回 (44名)

介護職員初任者研修・実務者研修等の受講生への体験発表  
➡ 3回 (44名)

ハローワーク移動相談会等での体験発表、オンライン体験発表、相談対応  
➡ 42回 (670名)

